

## 歩行者

- **ドライバーに見える努力を**  
急な飛び出しなどをしない
- **車ではなく、ドライバーの顔を見る**  
自分に気づいているか注意しよう
- **「車が止まるだろう」はダメ**  
お互いに気をつけることが重要

## ドライバー

- **時間に余裕をもった運転を**  
焦りは運転ミスにつながる
- **高齢者ドライバーが多い事を意識**  
危険を予測して運転しよう
- **子供を事故から守るのはドライバー**  
車は敵ではない。ドライバーが子供を守る意識を

安全につながるそれぞれの「意識」

**他人事ではなく、自分や大切な人の事だと考えよう**

- **正しいルールを自分で覚えよう**  
スクールガードさんがいない道もある。普段から自分で考えて歩こう
- **家族ぐるみで安全意識を持とう**  
子どもは大人のマネをする。家族で交通安全について話し合おう

- **運転の判断力は確実に低下している**  
無理な運転をせず、車間距離をとる
- **歩行者は反射材やライトを活用**  
夜間は特に。明るい道でも車からは見えていない

## 子ども・保護者

## 高齢者

### 交通ルール、きちんと理解していますか？

皆さんは、免許を取得した時に習った事、すべて覚えていますか？ 今、大槌の町は区画整理などにより、道路の形や標識が震災前とは変わっています。

「地元だと運転できるけれど、盛岡や仙台は自信がない…」交通ルールや標識の知識が曖昧なまま運転していませんか？

認識のずれや、不必要な譲り合いにより、事故が発生するケースもあります。これをきっかけとして、新しい町で安全に暮らすために、疑問に思った事をきちんと確認しながら運転しましょう。

### LEDライトや反射材を活用しましょう！

歩行者はライトや反射材を身につけると、夜間でも車から確認しやすくなり、交通事故を防ぐことができます。

釜石警察署では、免許センター内に、LEDライトのガチャガチャを設置していますので、ぜひ活用してください。また、反射材が欲しい場合は大槌交番でお分けすることもできますので、お気軽にご相談ください。



## 車が止まってくれると思わないで

交通事故を防ぐには、ドライバーはまずスピードを落とすこと。大槌町の場合は特にスピードを出す人が多い傾向にあります。細い道もスピードを落とさなかったり。歩行者については、「車が止まってくれるだろう」「見えているだろう」と思ってはいけません。車のピラー1つで視界が遮られることもあります。車だけではなく、ドライバーの様子、表情を見ること。自分に気がついているか、常に注意して下さい。

ドライバー・歩行者共に、油断せず、お互いに気をつけること。実は、県内では車の任意保険加入率が低いです。そのくらい、交通事故を他人事だと思っているということ。自分の事だと思って、意識することが必要です。



釜石警察署 大槌交番  
吉田 明彦 所長



### 子どもをまもる安全教育

大槌町交通指導隊では、大槌学園や吉里吉里学園、町内の幼稚園、保育園などと連携しながら、子どもたちを対象にした交通安全教室を開催し、道路の横断の仕方や、自転車の乗り方を教えています。通学路における子どもたちの安全確保はもろろんの事、子どもを通じた家族全体の交通安全意識の高揚に取り組んでいます。

### 街頭立哨などの啓発活動

交通安全においては、ハード整備などによって一朝一夕に事故の起こらない環境ができる、ということはありません。安全な環境をつくれるのは、私たち町民一人ひとりの「意識」です。町の交通安全対策協議会では、交通安全協会、大槌町交通安全母の会、交通指導隊、釜石警察署、大槌交番、JAいわて花巻などと連携し、季節ごとに街頭立哨活動を行っており、交差点で呼びかけながら、ドライバーにチラシなどを配布しています。こういった地道な活動が、事故のない町づくりの第一歩となっています。

